

手術前等の休薬期間の目安

久留米大学医療センター

2020年8月現在

分類	一般名	販売名(当院採用、*は院外限定)	休薬の目安	引用
抗凝固薬 …出血のリスクあり				
	アピキサバン	エリキュース	2日	1
	エドキサバントシル酸塩水和物	リクシアナ	1日	1
	ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩	プラザキサ	2日	1
	リバーロキサバン	イグザレルト	1日	1
	ワルファリンカリウム	ワーファリン, ワルファリンK	3日	2
抗血小板薬・血小板凝集能抑制作用を有する薬剤 …出血のリスクあり				
	アスピリン	アスピリン, パイアスピリン, ゼンアスピリン, アスピリン腸溶錠	7日	1
	アスピリン・ダイアルミネート	パファリン・アスファネート・ニトギス・バツサミン・ファモター配合錠 A81, パファリン・イスキア配合錠A330	7日	1
	アスピリン・クロピドグレル硫酸塩	コンブラピン配合錠	14日	1
	アスピリン・ボノプラザンフマル酸塩	キャブピリン配合錠*	7日	1
	アスピリン・ランソプラゾール	タケルダ配合錠	7日	1
	イコサペント酸エチル	エパデールS, イコサペント酸エチル, エパラ, ナサチーム, エパキャップ, エパロース, メルブラール, ソルミラン	7日	3
	オメガ-3脂肪酸エチル	ロトリガ	7日	エパデールに準ずる
	クロピドグレル硫酸塩	プラビックス, クロピドグレル	14日	1
	サルポグレラート塩酸塩	アンプラーグ, サルポグレラート塩酸塩	2日	4
	シロスタゾール	シロスタゾール, プレターール, コートリズム, プレトモール, シロシナミン, ホルダゾール, シロスレット	3日	2
	チカグレロル	ブリリンタ	5日以上	1
	チクロピジン塩酸塩	チクロピジン, パナルジン, マイトジン	14日	1
	ニセリトール	ペリシット	1日	4
	プラスグレレル塩酸塩	エフィエント	14日	1
	ベラプロストナトリウム	ベラプロストNa, ケアロードLA*, ドルナー, プロサイリン, ベラプロストナトリウム, ベラサスLA	2日	4
	リマプロスト アルファデクス	プロレナール, オパルモン, リマプロストアルファデクス	2日	4
拡張血管	ジラゼブ塩酸塩	コメリアンコーワ*, ジラゼブ塩酸塩	2日	4
	ジピリダモール・徐放	ペルサンチン, ペルサンチンL*, ジピリダモール, ヨウリダモール	2日	4
	トラピジル	ロコルナール, トラピジル	2日	4
脳循環改善薬	イブジラスト	ケタス	3日	4
	イフェンプロジル酒石酸塩	セロクラール*, イフェンプロジル酒石酸塩, アポノール	2日	4
	ニセルゴリン	ニセルゴリン, サアミオン	3日	4
黄体ホルモン・卵胞ホルモン配合剤 …血栓のリスクあり				
	エチニルエストラジオール・ノルエチステロン	ルナベル配合錠*ULD・LD, シンフェーズT28, フリウェルLD	4週間 (術後2週間も不可)	1
	エチニルエストラジオール・レボノルゲステル	アンジュ21・28, ジェミーナ配合錠, トリキュラー21・28, ラベルフィーユ21・28		1
	デソゲステル・エチニルエストラジオール	ファボワール21・28, マーベロン21・28		1
	トロスピレン・エチニルエストラジオールヘータデクス	ヤーズ配合錠*, ヤーズフレックス配合錠*		1
骨代謝改善剤 エストロゲン受容体結合剤 …血栓のリスクあり				
	ラロキシフェン塩酸塩	エビスタ錠, ラロキシフェン塩酸塩錠	3日	
	バゼトキシフェン酢酸塩	ビビアント錠*	3日	
CT造影剤投与時中止する薬剤				
ビグアナイド系経口糖尿病薬 …乳酸アシドーシスのリスクあり				
	メトホルミン塩酸塩	メトグルコ, グリコラン, メトホルミン	前後2日間	1
	ブホルミン塩酸塩	ジベトス, ジベトンS	前後2日間	1
	アログリプチン・メトホルミン	イニシンク配合錠*	前後2日間	1
	ピオグリダゾン・メトホルミン	メタクト配合錠LD・HD	前後2日間	1
	アナグリプチン・メトホルミン	メトアナ配合錠LD・HD*	前後2日間	1
	ビルダグリプチン・メトホルミン	エクメット配合錠*LD・HD	前後2日間	1

※ ACE阻害剤、ARB、β 阻害剤は休薬しない

※ カリジノゲナーゼ、ノルスパンテープ、プラノバルはコメント対応(別紙参照)

上記を目安とし、手術・検査・麻酔の侵襲の程度に応じて各担当医が判断すること。

リウマチ膠原病に関連した薬剤については、専門医のアドバイスを受けること。

(別紙)

薬剤名	コメント
プラノバル錠	プラノバル錠は血栓症のリスクが高くなる状態(体を動かせない状態など)では血栓症のリスクが高くなるので投与を中止するなど適切な処置をすることとなっています(添付文書より)。中止目安の基準はないとのこと(製薬企業の回答より)。同効薬のヤーズ配合錠では術前4週以内、術後2週以内、長期安静状態の患者には禁忌となっています。なお、血栓症のリスク因子については添付文書をご参照ください。
ノルspanテープ	ノルspanテープは全身麻酔薬やオピオイド使用する際に一旦中止することが推奨されています。明確な基準はありませんが、半減期が約1日、完全に薬効が消失するのに5mgだと約2日、10mgだと約3日、20mgは約4日かかるとされます(製薬企業の回答より)。中止をされる場合の疼痛管理にはNSAIDs等の対応をお願いします。
カリジノゲナーゼ (カルナクリン)	カリジノゲナーゼは手術中止の明確な基準はありませんが、末梢血管拡張作用があるため、脳出血直後等の新鮮出血時の患者には禁忌となっています(添付文書より)。半減期は6~8時間のため出血のリスクが高い患者には1日休薬をご検討ください。

参考文献

1. 添付文書
2. 日本循環器学会「循環器疾患における抗血小板、抗凝固療法に関するガイドライン」(2009年改訂版)
3. 日本手術医学会「手術医療の実践ガイドライン」(2013年改訂版)
4. 周術期の薬学管理 南山堂 2012